

## ～課題研究発表会～

能代西高校では、総合学科における学習の集大成として、生徒自らが設定した課題に取り組んできた過程や成果を発表しあい、自己の進路選択や人間としての在り方・生き方について考えさせる機会として「課題研究発表会」を実施しています。

1月25日に行った発表会は、5系列6組のグループの3年生の代表が1、2年生や先生の前で、自分たちの行った研究内容をスライドショーや実物を展示するなどして発表しました。

総合進学系列の「カメムシの生態を知ろう！」

の発表では、カメムシは足から臭いを出す、バナナや青リンゴのような臭いを出すカメムシもいるといった生態について詳しく説明したほか、カメムシはミントの香りが苦手ということに触れ、水にミントの葉をもみ込んだミント水の作り方などの防除方法も紹介しました。

また、生物資源系列の「安全・安心「あきたe c oらいす」作りに向けて」では、能代西高の水田における収量のばらつきの原因が「土壌の養分バランスに問題があるのではないか？」という仮説を立て、土壌の状態を調べるために簡易キットを使った実験と農業技術センターに協力を得て行った土壌診断の結果をまとめ、考察した内容について発表をしました。診断の結果、土壌状態はおおむね良好であるものの、苦土と鉄分が不足していることが分かり、食味値の向上を図るためにも今年度の結果を踏まえた施肥・管理を提案しました。

その他にも、パスタで作った橋やチャレンジショップの取り組みなど、研究を通して得られた経験や学んだことをわかりやすく説明され、先輩から後輩へのメッセージ性がとても強い発表会になりました。



← 研究の成果をわかりやすく発表

→ 真剣に発表を聞く生徒



## ～全校綱引き大会～

能代西高校では、冬場の体力づくりや健康増進、クラスの団結力を深めることを目的に毎年全校綱引き大会を開催しています。1月16日に行われた大会では、男子の部と女子の部に分かれ、7人1チームで予選リーグと決勝トーナメントが行われ、熱い戦いが繰り広げられました。

1試合3本勝負で2本先取した方が勝ちとなり、自分のチーム側に2メートル引くか、制限時間でより引いている方を勝者としました。選手たちは試合が始まると「せーの」と掛け声と力を合わせて綱を引きました。試合では、勢い余って後ろに倒れるチームや、制限時間いっぱいまで勝負がつかない接戦も見られ、応援するクラスメートや先生たちも一進一退の攻防に「負けるな!」「引っ張れ!」と熱い声援を送っていました。どの生徒も真剣に取り組み、勝っても負けても生徒たちの笑顔が印象的でした。



## ～ドレッシングをみょうが館で販売～

平成27年にホテルサンルーラル大潟の協力のもと、完成した「白神青ネギドレッシング」。西高祭などでしか手に入らなかったのですが、みょうが館でも販売を始めました。値段は1瓶200ml入りで540円(税込)となっております。サラダはもちろん、どんな料理にも合いますので、ぜひお買い求めください。

